

IHEの普及活動と 世界動向

IHE-J 渉外委員会
(放射線医学総合研究所 医療情報課)
安藤 裕

IHE Workshop in 仙台 2006.5.13

1

IHEを一言で表現すると

■医療のIT (Information Technology)
化

医療において情報通信技術を活用す
ること

IHE Workshop in 仙台 2006.5.13

2

IHEの特徴

- 病院情報システム(HIS)、放射線情報システム(RIS)、PACS(画像管理システム)などの情報システムの相互運用性(情報の連携)を推進する。
- ワークフロー(業務シナリオ: Integration Profile)を分析して、いかにシステム化するかを提言する。
- コネクタソン(接続テスト)を行い、その結果を公開している。

IHE Workshop in 仙台 2006.5.13

3

IHEとは？

- 「医療連携のための
情報統合化プロジェクト」
 - IHEは、既存の規格や技術を利用して、効率的な医療情報システムを構築すること。
- 業務の台本である
 - 登場人物 Actor
 - せりふ
 - ト書き

IHE Workshop in 仙台 2006.5.13

5

IHEを理解するための用語集

- Technical Framework: 技術的枠組み
 - Integration Profile: 統合プロフィール
 - Actor: 登場人物
 - Transaction: せりふ
- OP (Order Placer): オーダー発行
- OF (Order Filler): オーダー受け
- IT infrastructure (ITI): 情報技術インフラ

IHE Workshop in 仙台 2006.5.13

6

IHEの目指すもの

- 業務の標準的なシナリオ
- システムの構築の方法
- 要求仕様書 (RFP) に使える文書
 - 統合プロフィール
 - テクニカルフレームワーク
- 統合化された電子カルテシステム

IHE Workshop in 仙台 2006.5.13

8

IHEの経緯

- 1999年、アメリカでRSNA(北米放射線学会)とHIMSS(病院情報管理システム学会)がスポンサーとなり、設立。
- その後各地に拡大
 - 北米 (1999年)
 - ヨーロッパ (2000年)
 - IHE-Japan 設立(2001年)
 - アジア・オセアニア(2002年)

IHE Workshop in 仙台 2006.5.13

9

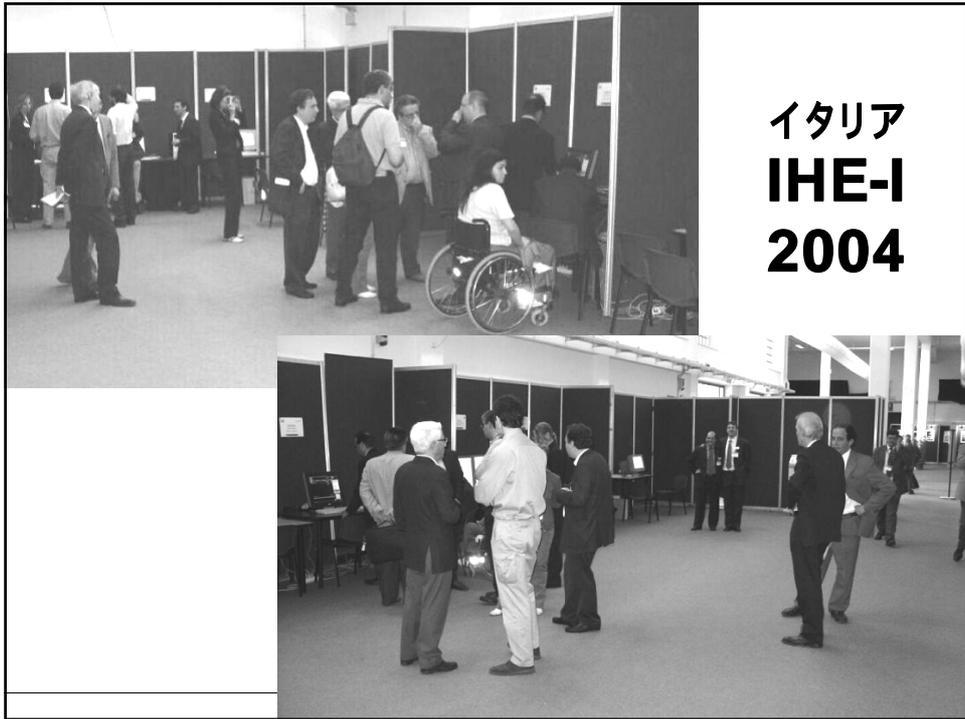
海外のIHE

- RSNA (北米放射線学会)
- HIMSS (病院情報管理システム学会)
- ヨーロッパ
 - IHE-UK (イギリス)
 - IHE-F (フランス)
 - IHE-D (ドイツ)
 - IHE-I (イタリア)
- アジア・オセアニア

IHE Workshop in 仙台 2006.5.13

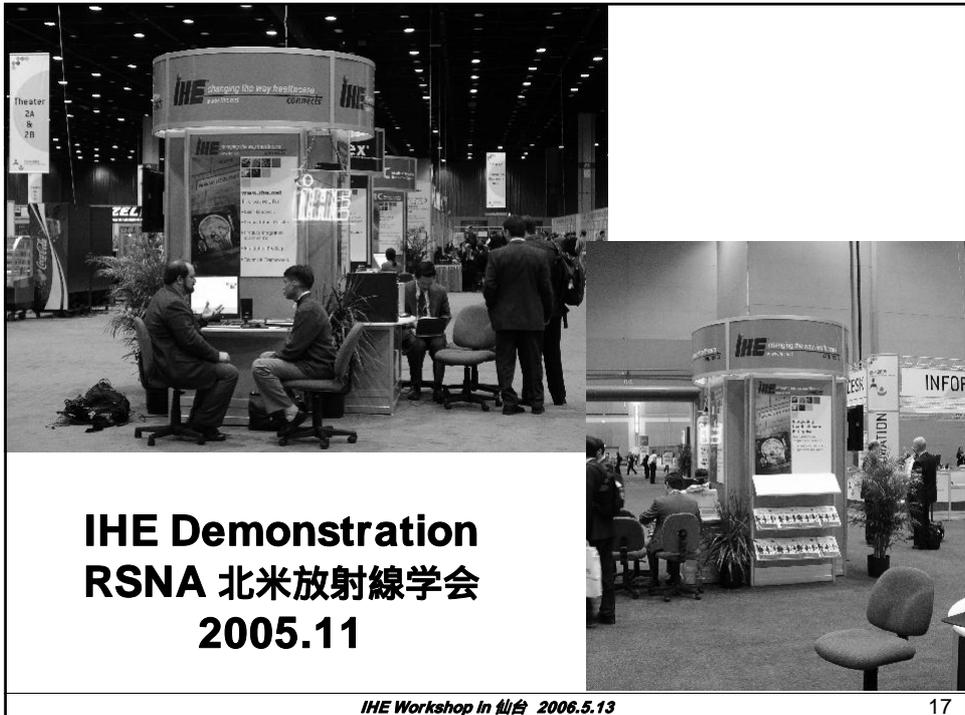
10





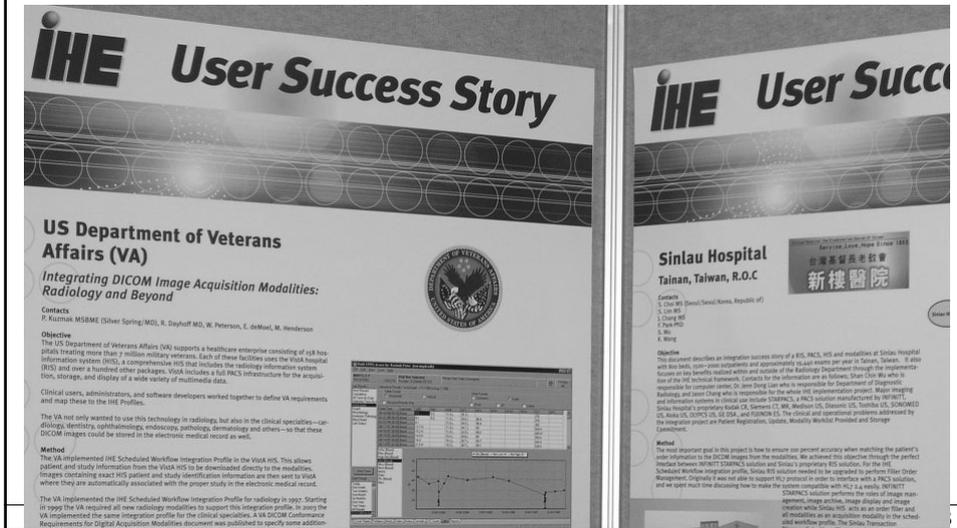


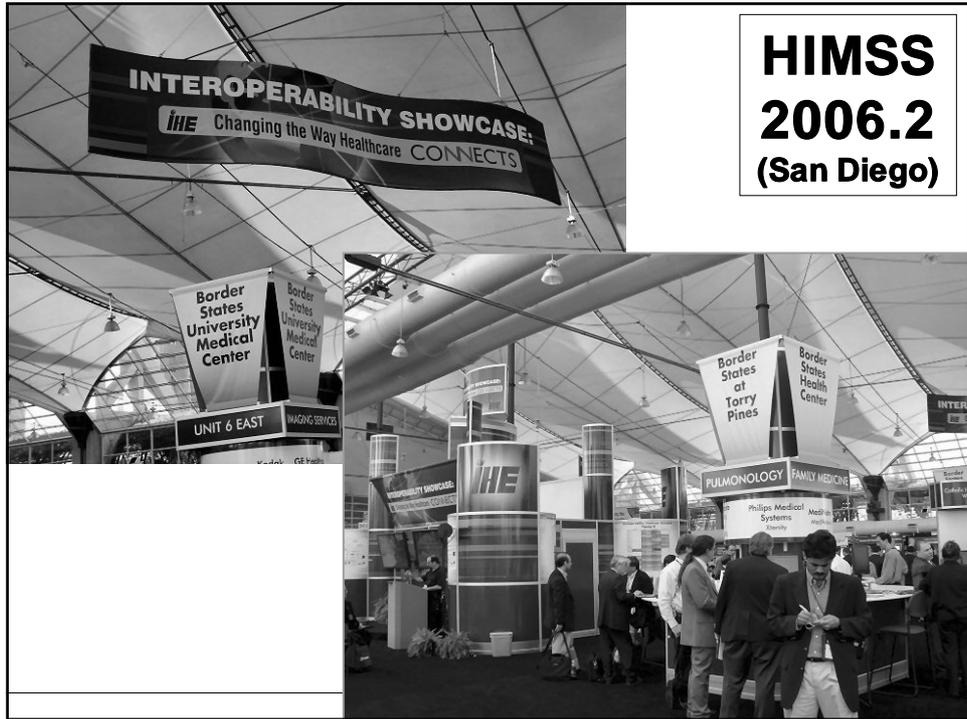
IHE Workshop in 仙台 2006.5.13



IHE Workshop in 仙台 2006.5.13

Success Story 導入事例





IHE Asia Oceania (2005.12)



IHE-J の発足 (2001.7)

- 学会、行政、工業会など各団体の連携
- ユーザ側、ベンダ側からなるオープンな組織

◆医学放射線学会(JRS)
◆放射線技術学会(JSRT)
◆医療情報学会(JAMI)

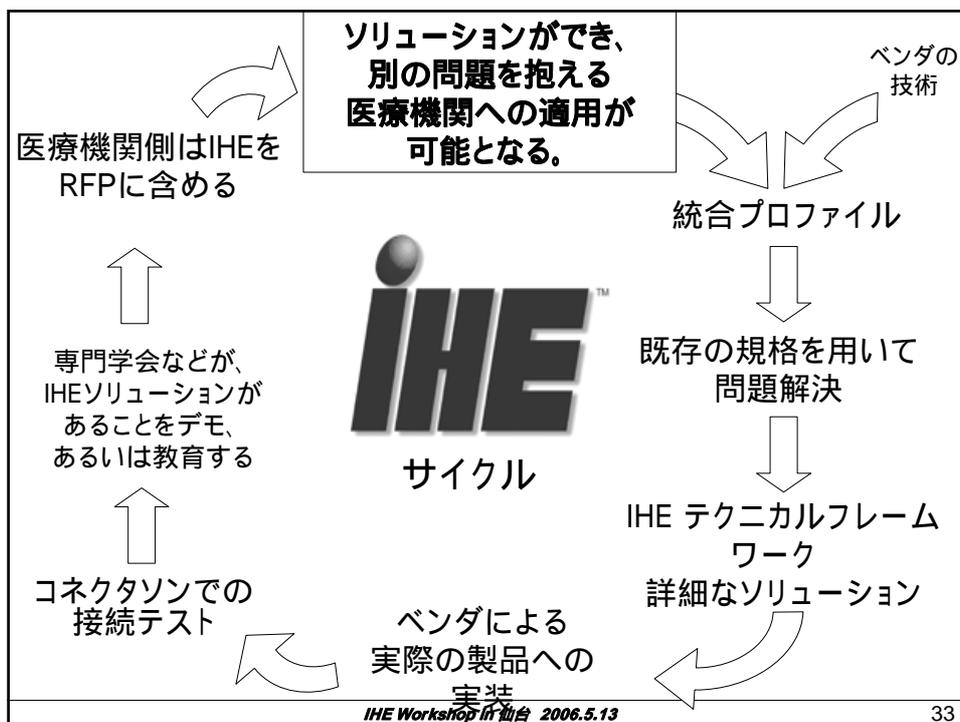
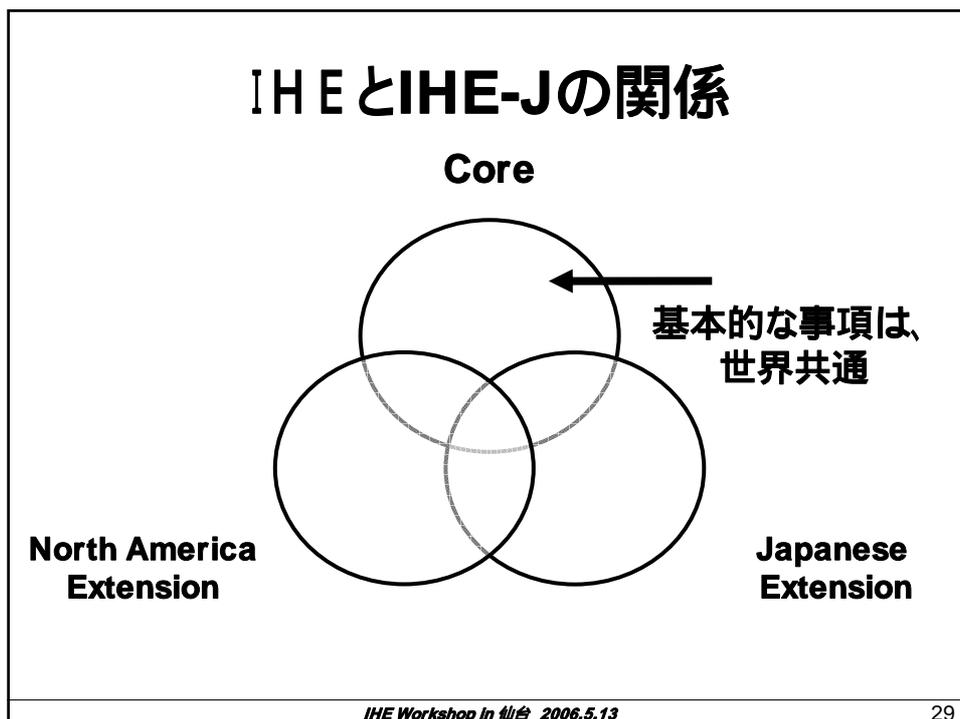
後援：経済産業省、厚生労働省
JSNM, JASTRO, 消化器内視
鏡学会、日本臨床細胞学会、
日本眼科学会

医療情報システム開発センター

◆日本画像医療システム工業会(JIRA)
◆保健医療福祉情報システム工業会
(JAHIS)

事務局

JIRA



CyberRad

- 1999年より、JRC(ラジオロジー協会)のもと、
 - JRS(放射線学会)
 - JSRT(放射線技術学会)
 - JSMP(医学物理学会)
 - JIRA(画像医療システム工業会)の4者で行う、学術展示。
- 内容
 - テーマ展示
 - チュートリアル
 - 一般展示

IHE Workshop in 仙台 2006.5.13

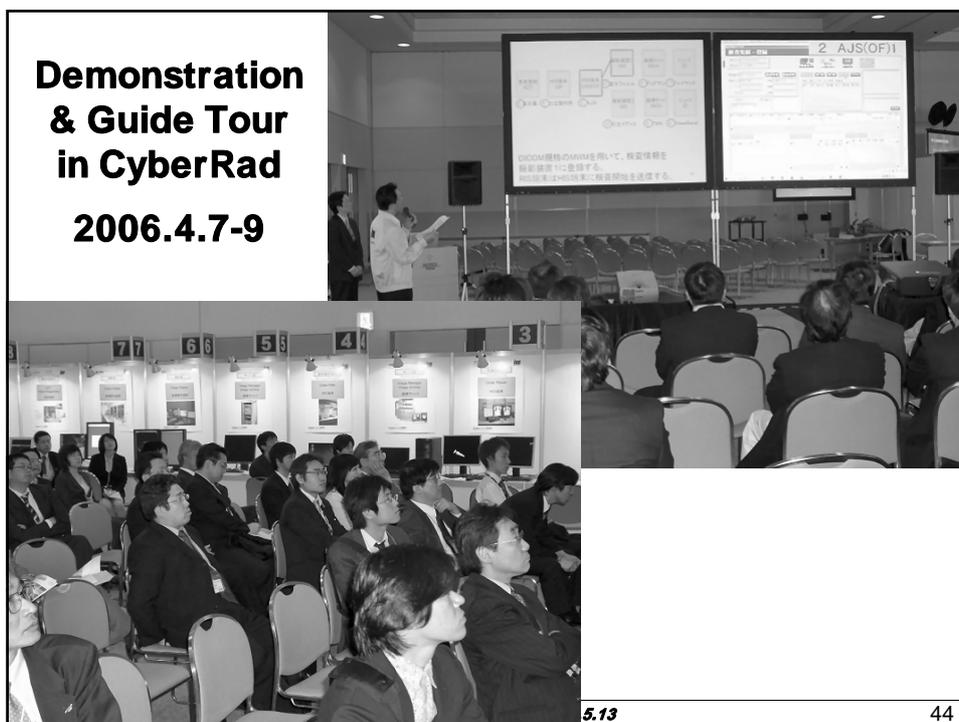
40

CyberRad2006 デモシナリオ

- 通常運用のワークフロー SWF
- 患者情報の整合性確保 PIR
- 画像表示の一貫性確保 CPI
ハードコピーおよびソフトコピー
濃淡値および表示状態
- 可搬型媒体CDによる情報の共有 PDI
- 画像や数値を含むレポート SINR

IHE Workshop in 仙台 2006.5.13

42



IHEを理解するには？

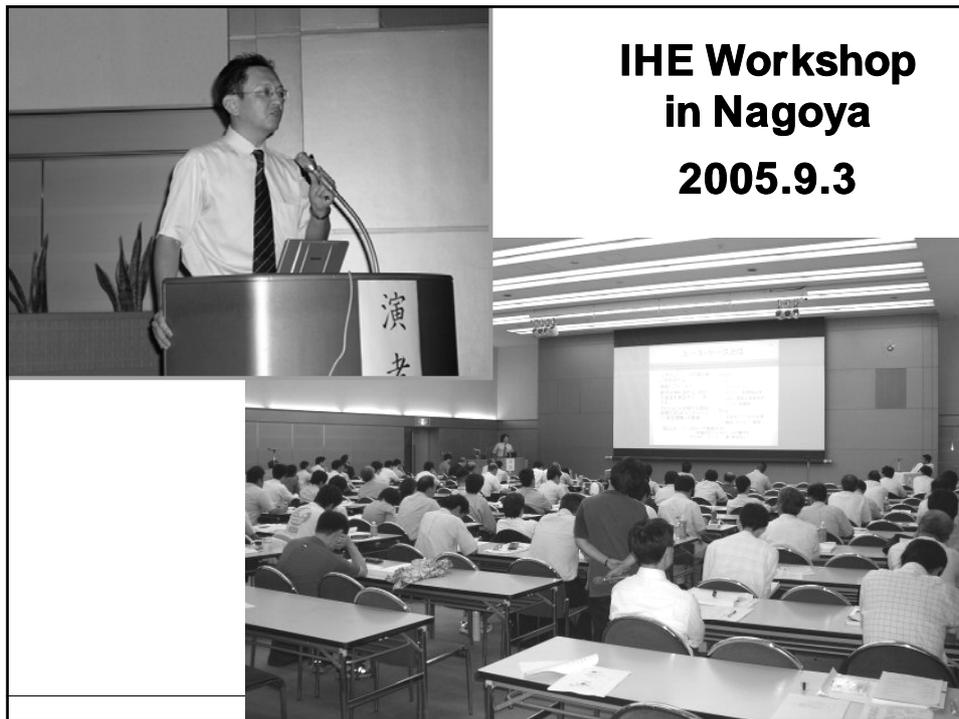
- 総論は、簡単。
 - IT化して相互運用性を向上させる
 - 効率化

- 各論は、種類が多く、多種多様で理解するには、努力が必要。

IHE Workshop in 仙台 2006.5.13

46







IHE-J 渉外委員会編
『IHE入門』もよろしく

書店にて
販売中

IHE Workshop

- 第1回 高知 2004.9.12
- 第2回 大阪 2005.1.22
- 第3回 札幌 2005.2.26
- 第4回 金沢 2005.5.14
- 第5回 名古屋 2005.9.3
- 第6回 小倉 2006.1.28
- 第7回 仙台 2006.5.13
- 第8回 東京 2006.8.4
- 第9回 京都 2007.1 (予定)

ワークショップは、医療関係者やベンダーの方を
対象とした勉強会です。

IHE Workshop in 仙台 2006.5.13

52

まとめ

- IHEが組織されて、国際的な活動の中で、IHEは利用されつつある。
- アメリカ、ヨーロッパ、アジア・オセアニアで、IHEは協調して活動している。
- 関連学会では、講演・デモ・展示などを行い、参加者は、70～90%がIHEに対して理解を示した。
- IHEの普及により、メーカーやユーザーにとってサクセスストーリーが出始めている。



IHE Workshop in 仙台 2006.5.13

53

参考WEB

<http://www.ihe.net>



END

Now open !
<http://www.ihe-j.org>

IHE Workshop in 仙台 2006.5.13

54